

島しょ地域



土砂・洪水災害 ハザードマップ凡例

- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
- 避難場所
- 一時避難場所 広域避難場所 収容避難所 福祉避難所
- ◎ 市庁舎 ◊ 警察署 × 交番・駐在所 △ 消防署 ★ 小・中学校 ◉ 高校

市町村境界

国道・路線番号

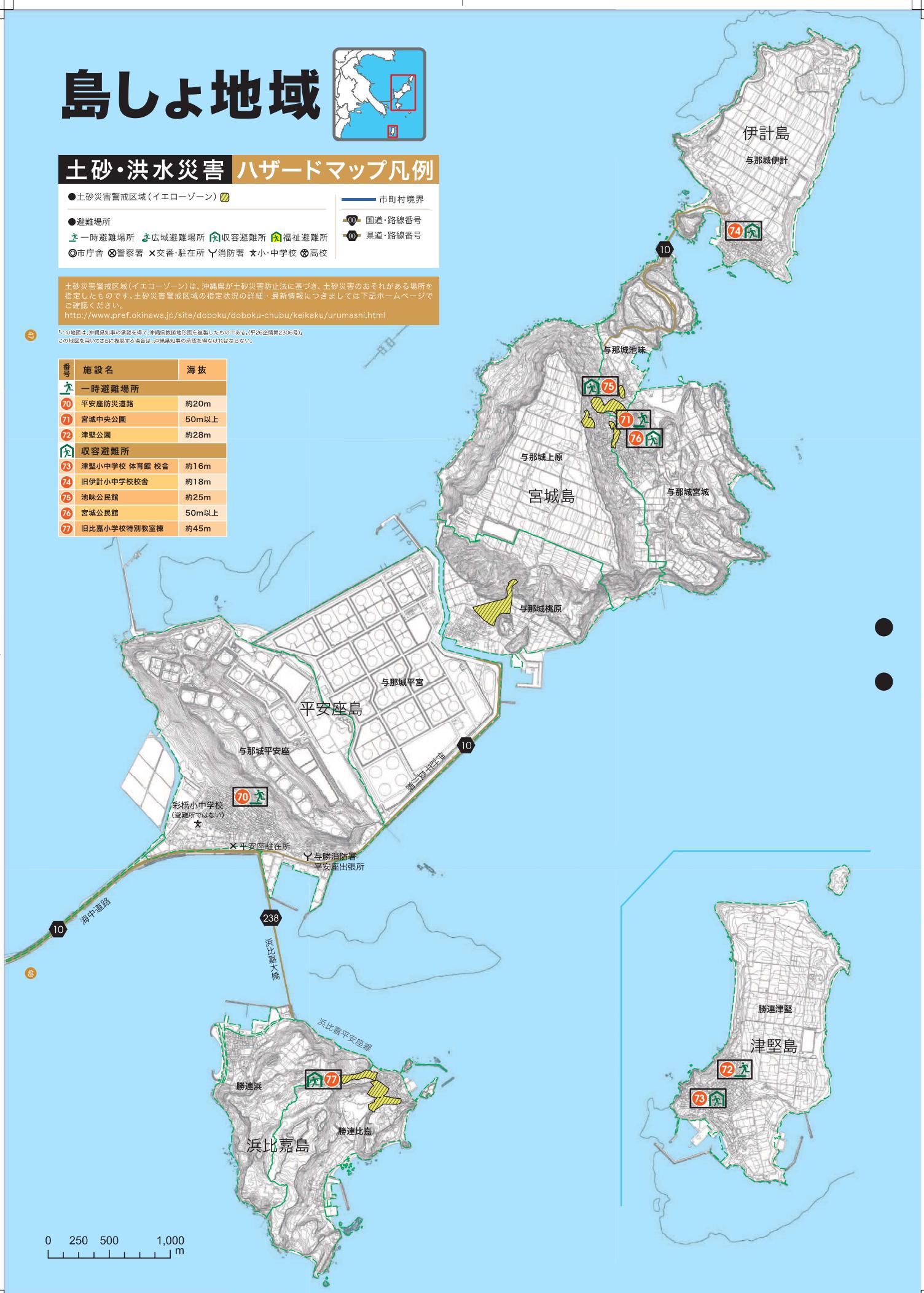
県道・路線番号

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）は、沖縄県が土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれがある場所を指定したものです。土砂災害警戒区域の指定状況の詳細・最新情報につきましては下記ホームページでご確認ください。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/doboku-chubu/keikaku/urumashi.html>

この地図は、沖縄県知事の承認を得て、沖縄県教科地形図を複製したものである。（平26企情第2306号）

この地図を用いてさらに複製する場合は、沖縄県知事の承認を得なければならない。

番号	施設名	海抜
	一時避難場所	
70	平安座防災道路	約20m
71	宮城中央公園	50m以上
72	津堅公園	約28m
	収容避難所	
73	津堅小中学校 体育館 校舎	約16m
74	旧伊計小中学校校舎	約18m
75	池味公民館	約25m
76	宮城公民館	50m以上
77	旧比嘉小学校特別教室棟	約45m



島しょ地域



津波(海拔高度) ハザードマップ凡例

● 海抜高度 0mから5mの地域 6mから19mの地域 20mから30mの地域
※着色が無い場所は海抜31m以上

- 避難場所
- 一時避難場所 広域避難場所 収容避難所 福祉避難所
- 市庁舎 警察署 交番・駐在所 消防署 小・中学校 高校
- 市町村境界 国道・路線番号 市道・路線番号

この海拔高度マップは、津波に対する日頃からの備えとして、地形的環境の把握をはじめ避難場所や避難経路の確認などに活用していただくことを目的に作成したもので、このマップに表示した海拔高度は、地図の精度上の誤差を含んでいますので、参考値としてご利用ください。また、このマップは、沖縄県が平成23年度に作成した海拔高度マップのデータを参考にして作成しています。

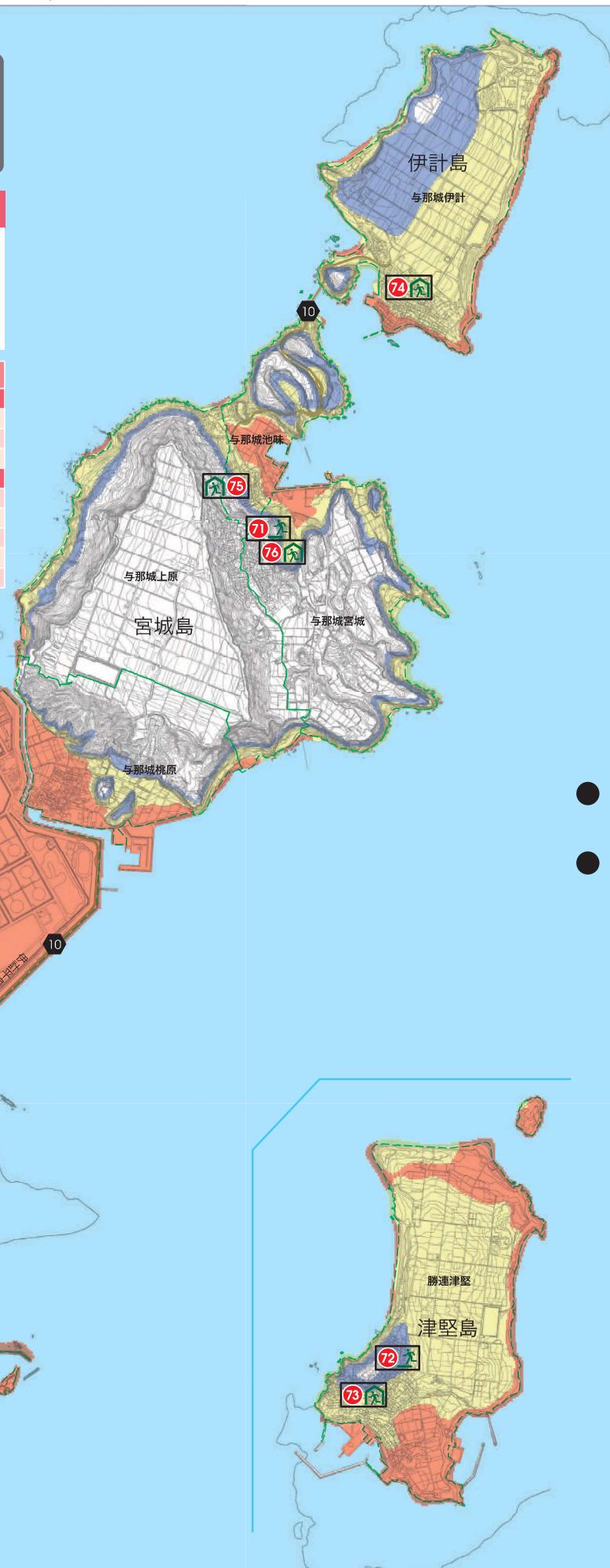
この地図は、沖縄県知事の承認を得て、沖縄県地図形態図を複製したものである。(平26令情第2306号)
この地図を用いてさらに複製する場合は、沖縄県知事の承認を得なければならない。

番号	施設名	海拔
70	一時避難場所	約20m
71	平安座防災道路	約20m
72	宮城中央公園	50m以上
73	津堅公園	約28m
74	津堅小中学校 体育館 校舎	約16m
75	旧伊計小中学校校舎	約18m
76	池味公民館	約25m
77	宮城公民館	50m以上
78	旧比嘉小学校特別教室棟	約45m

6

5

0 250 500 1,000 m



島しょ地域



揺れやすさマップ マップ凡例

●震度階級 6弱 6強 7

◎市庁舎 ◎警察署 ×交番・駐在所 △消防署 ★小・中学校 ◎高校

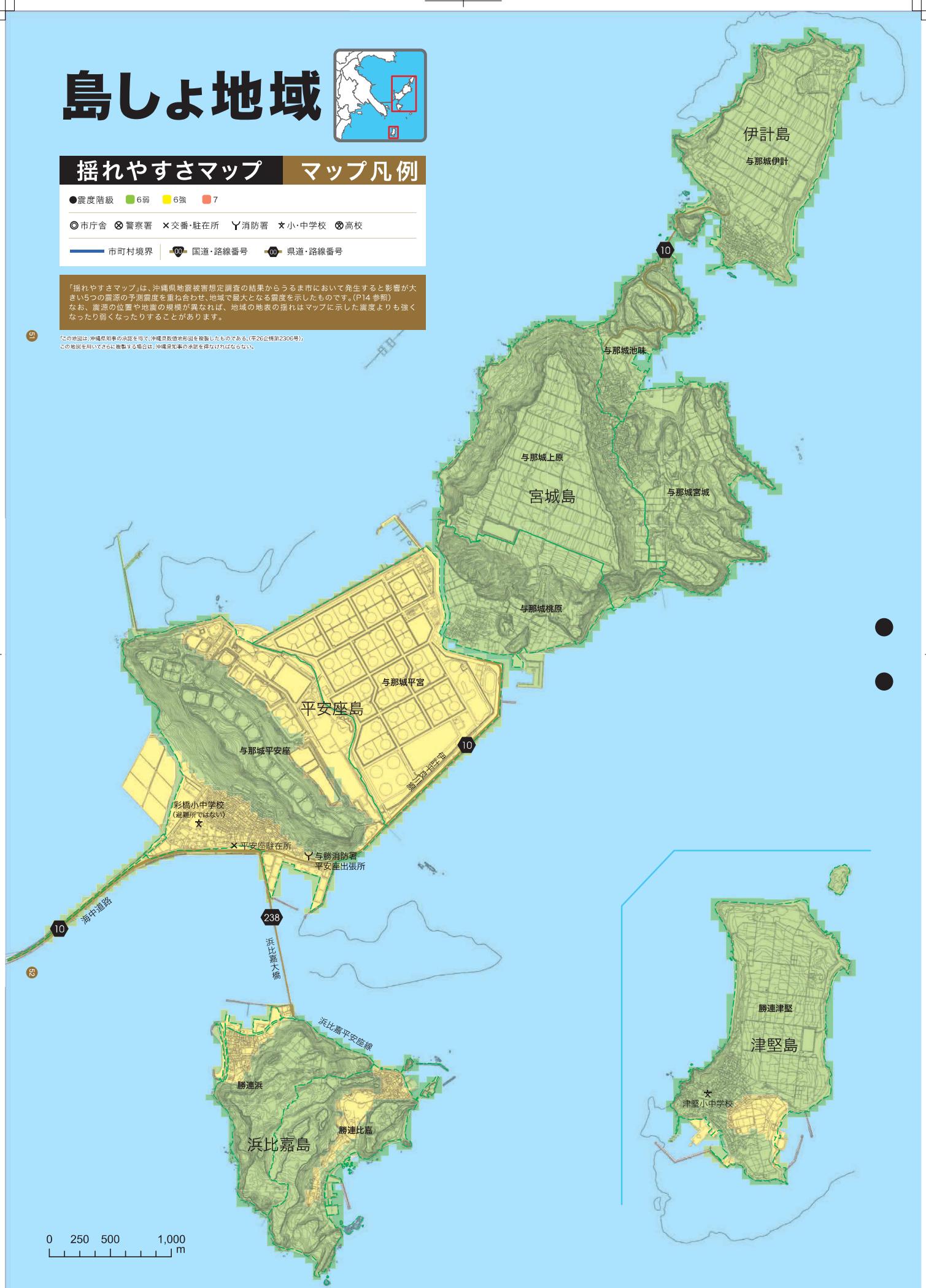
— 市町村境界 — 国道・路線番号 — 県道・路線番号

「揺れやすさマップ」は、沖縄県地震被害想定調査の結果からうるま市において発生すると影響が大きい5つの震源の予測震度を重ね合わせ、地域で最大となる震度を示したものであります。(P14 参照)
なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地表の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。

この地図は、沖縄県知事の承認を得て、沖縄県地図作成課を複製したものである。(平26企情第2306号)

この地図を用いてさらに複製する場合は、沖縄県知事の承認を得なければならない。

15



島しょ地域



地域の建物全壊率予測 マップ凡例

● 建物全壊率

範囲	色
0%以上から3%未満	青
3%以上から5%未満	緑
5%以上から10%未満	黄
10%以上から15%未満	オレンジ
15%以上	赤

◎市庁舎 ◎警察署 ×交番・駐在所 ▾消防署 ★小・中学校 ◎高校

市町村境界 国道・路線番号 県道・路線番号

「地域の建物全壊率予測マップ」は「揺れやすさマップ」で示された震度と建物構造(木造・非木造)、建築年次別の建物棟数から全壊する建物棟数の割合(全壊率)を算出し、50m区画毎に、5段階の建物全壊率として示したものです。なお、全壊する建物傾向は液状化による建物被災率も含まれています。赤色で示した地域ほど、古い建物が多く集中しているため、建物全壊率が高くなり、対応が遅くなる建物が多いことを示しています。また、色が塗られていない部分(白色)は、建設がまだないなどの理由で全壊率を算出することが困難な部分となっており、安全な箇所を示しているものではありません。実際には、地震に対する建物の強さは個々の建物によって異なります。そのため、建物全壊率が高い地域であっても、既に強化した建物は倒壊にくく、逆に建物全壊率の低い地域であっても、老朽化した建物は全壊する可能性があります。

『この地図は、沖縄県知事の承認を得て、沖縄県数値地形図を複製したものである。(平26企情第2306号)』
この地図を用いてさらに複製する場合は、沖縄県知事の承認を得なければならない。

